

報道関係各位

2018年2月16日
学校法人 成城学園

<創立 100 周年プロジェクト「いのちを守り合う成城ファミリー」>

ウォーターセーフティー・シンポジウム 2018 ～ 3.11 災害を経験した我々にこれからできること ～ 日程：2018年3月11日(日)13:30～17:10 場所：成城大学

学校法人成城学園（東京都世田谷区 理事長：渡 文明）は、成城学園創立 100 周年記念「いのちを守り合う成城ファミリー」プロジェクトとして、【成城学園からいのちを救う輪を広げよう】を合言葉に一時救命処置（以下 BLS）講習会を 2014 年から開催しています。本プロジェクトの一環として、このたび、特定非営利活動法人 日本ライフセービング協会（JAPAN LIFESAVING ASSOCIATION、以下 JLA）主催のもと「ウォーターセーフティー・シンポジウム 2018 ～ 3.11 災害を経験した我々にこれからできること～」を、2018 年 3 月 11 日（日）に開催いたします。

◆「いのちを守り合う成城ファミリー」プロジェクトについて

急なアクシデントで心肺停止や呼吸停止に陥ってしまった人が発生した場合の確実な“ファーストレスポnder”（救急車が到着するまでの一次救命処置を行う人）を増やす事を目指し、活動しています。講師は、JLA 公認の BLS インストラクターの資格を持つ本学園の 3 人の教員が務め、成城大学・高等学校のライフセービングクラブの学生や生徒がサポートしています。学園関係者はもとより学外でも講習を行い、プロジェクト開始から累計受講者が 10,000 人（10,762 人 2017.03.31 末現在）を突破。本プロジェクトの賛同の輪が広がっています。

本シンポジウムは、シンポジウムとパネルディスカッションの 2 部制で開催します。東日本大震災では、死因の 92.4%※が溺死と発表されています。（※出典：内閣府「平成 23 年版防災白書」）その災害から 7 年が経ち、東海・東南海地震等の大規模自然災害の発生が危惧される今日において、国民の安全・安心をより強化していくために、一般市民（バイスタンダー）やライフセーバーに期待する能力（責務）について、平時、有事の活動、公的救助機関との連携などもふまえて議論します。

開催概要

【タイトル】：ウォーターセーフティー・シンポジウム 2018

～ 3.11 災害を経験した我々にこれからできること ～

【日時】：2018 年 3 月 11 日（日） 13：30-17：10

【場所】：成城大学 3 号館地下 1 階 003 教室

【参加方法】：JLA ホームページよりお申込みください。http://jla.gr.jp
申し込み締め切り：3 月 2 日（金）

【参加費】：無料：先着 400 名

【お問合せ】：特定非営利活動法人日本ライフセービング協会（JLA）事務局
TEL；03-3459-1445/e-mail；info@jla.gr.jp



<プログラム>

【開 会】 13:30-13:40 主催者 挨拶 JLA 理事 /事務局長 川地 政夫
協力団体挨拶 学校法人成城学園 学園長 油井 雄二

【第1部】 13:40-15:50 (休憩含む 130 分) シンポジストより発表 各 12 分(質疑応答各 3 分)

- 1) わが国における想定津波被害と防災減災
大阪大学大学院 工学研究科 教授 青木 伸一
- 2) 東日本大震災時の消防の対応と今後の防災減災対策
総務省消防庁 国民保護・防災部 地域防災室長 天利 和紀
- 3) 東日本大震災時の海上保安庁の対応と今後の防災減災対策
海上保安庁 警備救難部 環境防災課防災対策官 吉田 勝昭
- 4) 自然災害時にバイスタンダーに求めるもの
岸和田徳洲会病院 救急救命センター長 医師 鍛冶 有登
- 5) 自然災害に備え、私たちができる防災・減災への取り組みについて
公益財団法人ブルーシー・アンド・グリーンランド財団 事業部 林 未来
- 6) 災害に対する国民の自助共助力の向上にむけて
日本赤十字社神奈川県支部 内田 直人
- 7) 自然災害に対する国民の自助共助力の向上にむけて
日本ライフセービング協会 副理事長 / ライフセービング教育本部長
/ 成城学園中学校高等学校教諭 松本 貴行

【第2部】 16:00-17:00 (60 分) パネルディスカッション

<テーマ> 自然災害に対して一般市民(バイスタンダー)、ライフセーバーに求めるもの

<パネリスト>

第1部のシンポジストに加え JLA 溺水防止・救助救命本部副本部長 菊地 太

<コーディネーター>

JLA 理事 / JLA 溺水防止・救助救命本部長 石川 仁憲

【閉 会】 17:00-17:10 総括 JLA 理事長 入谷 拓哉